

令和6年度 岐阜県流域下水道事業経営戦略 取組実績

令和6年度に改定した岐阜県流域下水道経営戦略（令和6年度～令和15年度）の基本方針の実現に向けて、「水洗化率」「耐水化率」「経常収支比率」「汚水処理原価」「電力削減率」を目標に定め、毎年進捗管理を行っています。

基本理念：生活に不可欠な下水道の機能・サービスの持続的・安定的な提供			
<基本方針>			
(1)持続可能な下水道機能の維持向上 (2)災害に強い下水道施設の強靭化 (3)経営基盤の強化			

数値目標

項目	目標	実績	分析
水洗化率 (接続率)	(R15年度) 91.7%以上	88.4%	関連市町の下水道整備により、令和5年度から0.2%上昇しました。
耐水化率	(R6年度) 100%以上	100.0%	4施設の耐水化が完了しました。
経常収支比率	100%以上	104.1%	数値目標の100%以上を達成しました。
汚水処理原価	68円/m ³ 未満	61.1円/m ³	物価上昇等により、令和5年度より増加したもの、目標値は達成しました。
電力削減率	(R4年度) R9年度までに 5%減	0.1%増	R6年度時点では、電力削減率が0.1%増加しましたが、高効率機器の導入を段階的に行っているところです。

【参考】投資・財政計画

区分	計画(A) (百万円)	実績(B) (百万円)	(B) / (A)	検証
収益的収入	5,781	5,751	99.5%	令和6年度の流入汚水量が概ね計画どおりであったことから、収入及び支出も計画値の近似値となりました。
収益的支出	5,665	5,526	97.5%	
資本的収入	1,524	1,671	109.6%	令和5年度から令和6年度への繰越額が大きいことにより、計画に対して実績が増加しました。
資本的支出	2,236	2,407	107.6%	

～用語説明・算定式～

項目	説明	算出式
水洗化率 (接続率)	処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口割合。	$\frac{\text{水洗化人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$
耐水化率	耐水化の進捗状況を表す指標。	$\frac{\text{耐水化した施設数}}{\text{全施設数}} \times 100$
経常収支比率	当該年度において、負担金等の収益で費用をどの程度賄えているかを表す指標。	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
汚水処理原価	流入汚水量1m ³ あたりの処理に要した費用。汚水処理資本費・汚水処理維持管理費の両方を含む。	$\frac{\text{汚水処理費（公費負担分を除く）}}{\text{年間流入汚水量}} \times 100$
電力削減率	電力使用量の削減割合を示す指標。	$(1 - \frac{\text{当年度の電力使用量}^{*1}}{\text{基準年度}^{*2} \text{の電力使用量}^{*1}}) \times 100$ ※1 電力使用量：処理水量（放流水量）あたりの使用量 ※2 令和4年度